

経営方針

■ 経営基本理念

地域社会の発展に貢献する

■ 経営ビジョン

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

■ 行動指針

- ① 金融を通じて中小企業の発展と住民の生活向上のために心から奉仕する。
- ② 役職員は常に一体となって健全かつ積極的な経営に努める。
- ③ 職員の生活向上を図り明るく朗らかな職場を築く。

■ 当金庫の経営の考え方

● 狭域高密度経営

預金・貸出金の残高が多いことが必ずしも経営の健全性に結びつかないことが明らかになっています。

当金庫は定められた営業範囲の中で、さらに地域に密着し、独自の金融サービスをより充実させていく所存です。

● 健全・効率経営の継続

厳しい経済環境のもと、当金庫がこれまで標榜してまいりました健全・効率経営に今後も努めてまいります。

● 基本的な経営姿勢

当金庫は、経営理念に基づいて役職員の行動指針を定め、当金庫が目指す姿を経営ビジョンとして描いています。

大きく変化する金融環境のもと原点に立ち返って、地域協同組織金融機関としての使命を再確認しています。

● 真に存在感のある信用金庫でありつづける

数字が表す以上に、地域のみなさまに「頼りがいのある金融機関だ」といわれるよう努力してまいります。

■ 当金庫の主な事業

● 預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等

● 貸出業務

手形貸付、証書貸付、当座貸越、手形の割引(でんさい割引含む)

● 為替業務

内国為替業務、外国為替業務

● 証券業務

有価証券投資業務、公共債の引受・販売、私募債の引受、投資信託の販売等

● 保険募集業務

年金保険、終身保険、がん保険、医療保険、火災保険、傷害保険等

● 代理業務

日本銀行、日本政策金融公庫、信金中央金庫、住宅金融支援機構等

● その他

債務保証、貸金庫業務、公金取扱業務、電子債権記録業に係る業務、確定拠出年金業務、企業等の経営改善支援、信託契約代理店業務等

明るく(赤く)、まあるく、
密度(蜜度)高いサービスを
お客さまにお届けします



■ 明るいおもてなし

● お客さまの心に寄り添い、みずみずしい笑顔でお迎えます。

各店で「当店のCS宣言」を店頭に掲示し、お客さまに、より満足してご利用いただける金融機関を目指して日々取り組んでいます。

〈活動の一例〉

- ◆「認知症サポーター養成講座」実施
高齢化が進む当地域において、全職員が認知症に関する正しい知識を身につけることで、認知症のお客さまご本人やそのご家族の方にも当金庫を安心してご利用いただけるよう、飯田市長寿支援課から講師をお迎えして「認知症サポーター養成講座」を開催しました。令和元年度は計3回の講座を職員127名が受講し、これにより飯田信用金庫全職員が同講座を受講しました。



令和2年1月21日、22日、24日 本店大会議室にて

■ まあるいお付き合い

● お客さまにずっと愛されるよう、心のつながりを大切にします。

お客さまに愛され続ける金融機関となるために、窓口や訪問先などでお客さまの何気ない「つぶやき」を集める取り組みを行っています。お客さまの「つぶやき」は各店から本部へ集められ、金庫全体で共有しています。お客さまの温かいお言葉に元気をいただいたり、日々の改善に活かしたりしています。

〈活動の一例〉

- ◆お客さま向け「応対接遇・ビジネスマナー勉強会」の実施
当金庫では平成25年度から金庫全体でビジネスマナー・応対接遇を学びなおしています。この学びを地域を支えるみなさまとも共有し、南信州の価値向上に貢献したいとの思いから、ご依頼いただいたお取引企業さまに出向き、「応対接遇」「ビジネス・マナー」に関する勉強会を行っています。令和元年度は勉強会を計16回実施させていただきました。今後も継続してまいります。



お客さま向けご案内

■ 密度の高い金融サービス

● お客さまの身近で頼りになる存在であるために、一人ひとりが学び続けます。

職員が選択できる学習内容を充実させ、お客さまのお役に立てるよう一人ひとりがそれぞれの課題に向けて継続的に学んでいます。

〈活動の一例〉

- ◆「CSハンドブック」
「りんご宣言」の礎となる「期待する人材像」に向かって、CS日本一を目指す具体的な行動を起こしています。「CSハンドブック」は、その行動のために必要な心構え、姿勢、応対、マナーなどを職員向けにわかりやすく解説した冊子です。マナー等で迷ったことがあればこの冊子を開き、「りんご宣言」を実践しています。



当金庫作成 職員向け「CSハンドブック」

第8次中期経営計画(2019年度～2021年度)

平成30年6月に当金庫初となる長期経営計画「架け橋2028」を、平成31年4月に第8次中期経営計画をスタートしました。令和2年度は第8次中期経営計画の2年目として、経営計画のテーマを「信用金庫らしさに磨きをかける」と掲げ、引き続き「業務改革の遂行」に注力して取り組んでまいります。これにより創出した経営資源を、「地域活性化」「収益力強化」「お客さま本位の営業推進」へ新たに投入することといたします。

■ 経営ビジョン(2028年のありたい姿)

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

- 常にお客さまの立場になって考え、行動することで、強い信頼関係が結ばれている。
- 地域の現状をしっかりと把握し、地域の将来の可能性を見据え、地域の発展に寄与する施策を自ら積極的に展開し、南信州の価値向上に貢献している。

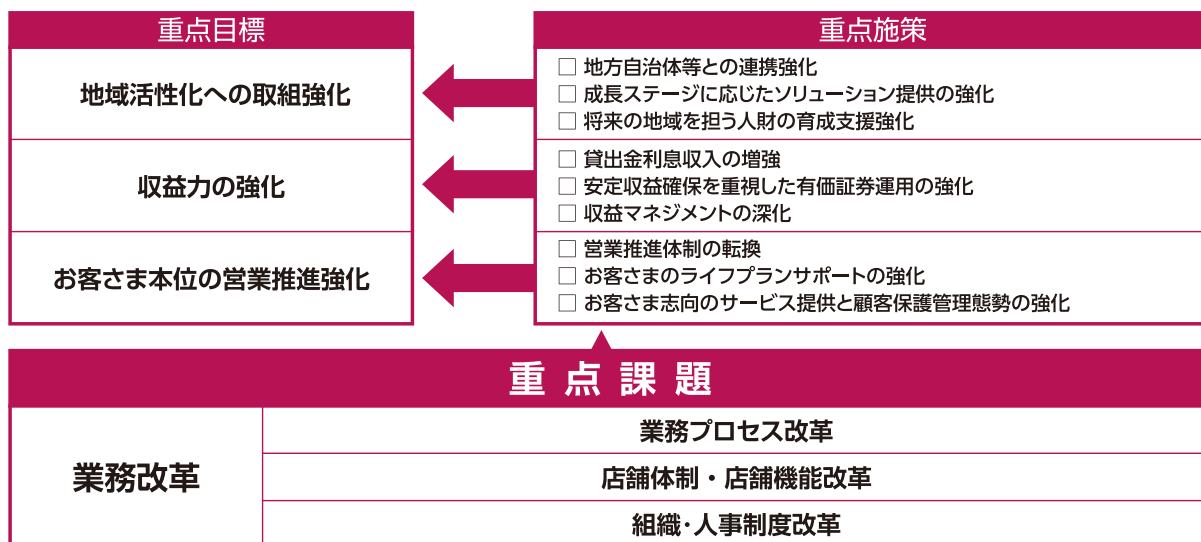
■ 当金庫の経営計画フレームワーク



■ 第8次中期経営計画の概要

「地域活性化への取組強化」、「収益力の強化」、「お客さま本位の営業推進強化」の3つを重点目標とし、これを達成するための9つの重点施策を展開します。

また、重点施策の実効性を高め、重点目標の達成を目指すため、「業務プロセス改革」、「店舗体制・店舗機能改革」、「組織・人事制度改革」の3つの業務改革を着実かつ確実に遂行します。



※業務改革は、重点施策を実行し、重点目標を達成するために不可欠となる重点課題と位置づけます。

SDGsへの取り組み

■ 飯田信用金庫「SDGs宣言」

令和元年11月15日(金)、当金庫はSDGs宣言を策定・公表しました。
「SDGs取組目標」には、環境・社会・ガバナンスの3側面から50項目の目標を掲げています。
今後もSDGs関連情報を積極的に発信し、お取引先企業の取り組み支援にも注力してまいります。



飯田信用金庫 「SDGs宣言」

当金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」を日々の活動に結び付け、「地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた両信州の価値向上に貢献する金融機関」という経営ビジョンのもと、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2019年11月
飯田信用金庫
理事長 小池 貞志

※SDGs(エスディージーズ:持続可能な開発目標)とは Sustainable Development Goals の略称。
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。
持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。
SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルなものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



飯田信用金庫 「SDGs取組目標」

社会(Society)

- 地域貢献活動
 - ・公益奉仕活動
 - ・特定非営利活動法人(NPO)等の協賛
 - ・SDGs推進の地域・産業・団体の推進
 - ・社会福祉活動
 - ・NPO等との連携
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
- 地域情報発信
 - ・AM、CF等の活用、発信活動の推進
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
- 人材育成
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組



飯田信用金庫 「SDGs取組目標」

環境(Environment)

- 環境負荷低減の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
- 環境配慮型商品の販売
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
- ガバナンス(Governance)
- 内部管理体制の充実
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
- 顧客満足度向上への取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
- 積極的な情報発信
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組
 - ・SDGs推進の取組

(上) 飯田信用金庫「SDGs宣言」
(右上) 「SDGs取組目標」(社会)
(右下) 「SDGs取組目標」(環境・ガバナンス)

■ SDGsに関する歩み

- 飯田信用金庫「SDGs宣言」の策定・公表
- 職員向け勉強会の開催
- 三井住友海上火災保険(株)との「SDGsに関する包括連携協定」の締結
- 「長野県SDGs推進企業登録制度」への登録
- お客さま向け「SDGsセミナー」の開催
- 地域内自治体のSDGsプラットフォーム事業への協力
- 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」への入会



長野県SDGs推進企業登録制度 登録マーク

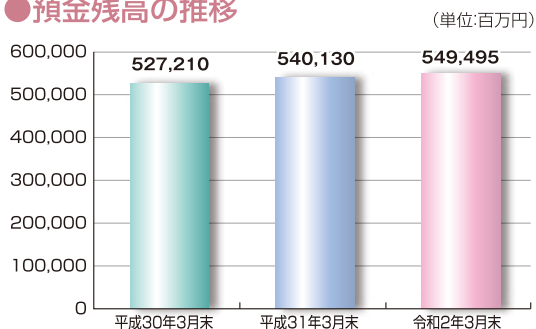
業績ハイライト

金融機関の競合はますます激しくなっていますが、地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績を挙げる事ができました。

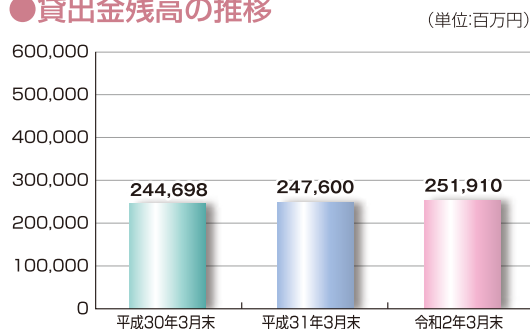
業績は堅調を維持しています。

■ 預金・貸出金の状況

● 預金残高の推移

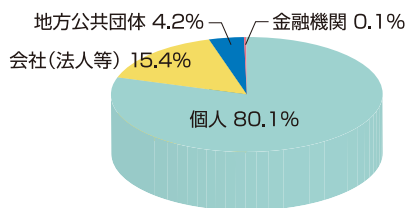


● 貸出金残高の推移



● 預金積金について ▶ 詳細P37

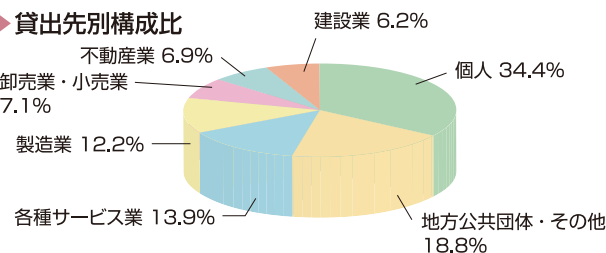
▶ 預金者別構成比



▶ 預金積金残高 5,494億円

● 貸出金について ▶ 詳細P38

▶ 貸出先別構成比



▶ 貸出金残高 2,519億円 ▶ 預貸率^(注) 45.8%

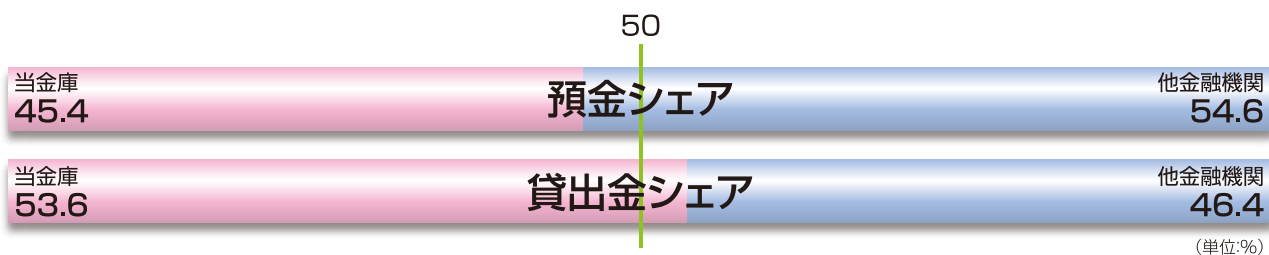
(注) 預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

預金の期末残高は、前期末比93億65百万円、1.73%増加し、5,494億95百万円となり、増加額、増加率ともに堅調に推移しました。法人預金は前期末比0.75%減少したものの、個人預金はキャンペーン商品の販売等により前期末比2.36%増加となりました。

貸出金は前年に引き続き重点施策として積極的に取り組んだ結果、一般法人向け融資および住宅ローンが堅調に推移したことから、期末残高は前期末比43億9百万円、1.74%と増加額、増加率ともに前期を上回りました。

地区内シェアはNo.1。

■ 地区内シェアの状況



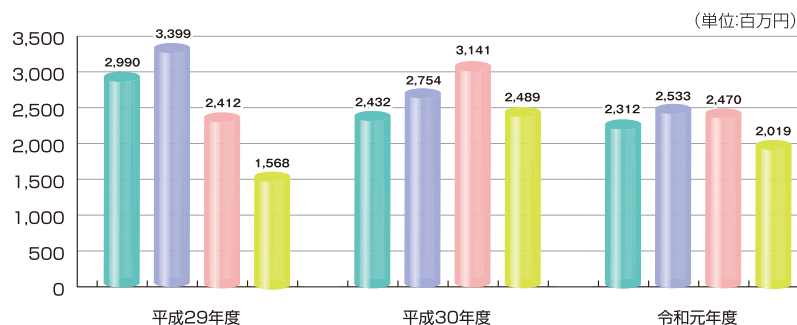
地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.4%、貸出金残高シェアは53.6%となっています。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計

安定した収益を堅持しています。

■ 収益の状況

■ 業務純益 ■ コア業務純益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

● 収益の推移



利回りの低下に伴い貸出金利息収入および有価証券利息収入が減少したことに加え、貸倒引当金戻入益が減少するなど厳しい経営環境ではありましたが、堅実かつ積極的な経営に努めた結果、業務純益23億12百万円、コア業務純益25億33百万円、経常利益24億70百万円、当期純利益20億19百万円を計上しました。

有価証券の含み益は218億円。

■ 有価証券の状況

● 保有有価証券の時価情報

(単位:百万円)

		取得原価	時 価	評価差額
保有 有価証券	株 式	7,804	9,116	1,311
	債 券	237,144	255,092	17,948
	その他	32,268	34,895	2,626
合 計		277,218	299,104	21,886

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しています。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は218億円となりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

自己資本の額は586億円。

■ 自己資本比率(単体)

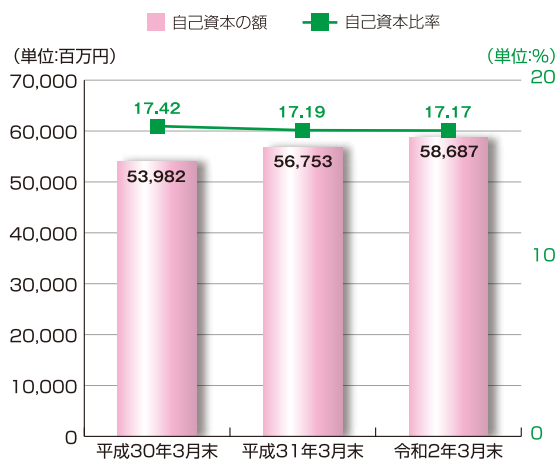
● 自己資本の額・自己資本比率の推移

分子である自己資本の額は、当期純利益20億19百万円を計上したことなどから、前期末比3.40%増加し586億87百万円となりました。

一方、預金の堅調な推移に伴い総資産額が増加したことに加え、貸出金やリスク・ウェイトが高い有価証券の残高が増加したことなどから、分母であるリスク・アセットは前期末比3.50%の増加となりました。

この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の17.19%から0.02ポイント低下し17.17%となりました。

資産の増加などにより自己資本比率は低下しましたが、引き続き国内基準(4%以上)を大きく上回っており、高い健全性を維持しています。



新入職員入庫式

平成31年 4月1日(月)

金庫行事

理事長から15名の新入職員に配属先辞令を手渡し、「当金庫の理念を忘れることなく、地域を愛し、業務にまい進してほしい」と訓示を受けました。新入職員代表は「自己管理を徹底し、常に全力投球で精進していくことを誓います」と述べ、社会人としての第一歩を踏み出しました。



第9回 全店統一企画 後援団体旅行

平成31年 4月9日(火)～令和元年 5月29日(水)

後援団体

第9回となる全店統一企画後援団体旅行を実施いたしました。今回は和歌山県まで足を伸ばし、1300年の歴史のある日本三古湯として有名な「白浜温泉」でご一泊、名勝「三段壁」「千畳敷」で壮大な自然を感じ、海の幸をご堪能いただきました。



SYMS 2019年度 定期総会・記念講演会

平成31年 4月15日(月)

後援団体

SYMS(シームス、しんきん若手経営者の会)では、定期総会・記念講演会に政治ジャーナリストの田嶋史郎氏(駿河台大学客員教授)を迎え、「どうなる日本!今後の政局と経済動向」のタイトルでご講演いただきました。



第2回 事業者向け「キャッシュレス決済セミナー」

平成31年 4月24日(水)

主 催

キャッシュレス社会の実現に向け、支払い時における幅広いペイメント手段への対応が求められる中、平成31年2月に引き続き第2回のセミナーを開催しました。100名を超えるお客さまにご参加いただき、キャッシュレス決済の動向、スマホ決済サービス「Origami Pay」、クレジットカード決済などについてご案内いたしました。



第33回 飯田やまびこマーチ

平成31年 4月27日(土)・28日(日)

協 賛

現在18大会ある日本マーチングリーグ(Jml)公式大会の中で、「飯田やまびこマーチ」は日本スリーデーマーチ(埼玉県東松山市)に次いで2番目に歴史のある大会です。春爛漫の光と緑の中、河岸段丘の高低あるコースを自然の豊かさを満喫しながら歩くイベントで、2日間で全国からのべ4,467名のウォーカーが参加しました。



飯田やまびこマーチ実行委員会

オーケストラと友に音楽祭 2019

平成31年 4月29日(月)～令和元年5月5日(日)

協 賛

「名古屋フィルハーモニー交響楽団名曲コンサート」には、日本のクラシック界を担う新鋭として今最も注目の若手指揮者・川瀬賢太郎氏と、圧倒的な技術と音楽性を兼ね備えた若きフルート奏者・上野星矢氏を迎え、フレッシュで勢いのあるプログラムを披露していただきました。



オーケストラと友に音楽祭実行委員会

第26回 天竜川水系環境ピクニック

令和元年 5月18日(土)

その他

1994年に始まり第26回を迎えた天竜川水系環境ピクニックは、約5,000名が参加する初夏の風物詩となっています。当金庫の職員も家族連れで100名以上参加し、河川敷の空き缶・空きビンを拾い歩きました。



信濃グランセローズ 飯田試合

令和元年 5月19日(日)

協 賛

信濃グランセローズ対巨人3軍の試合をPRするため、本店営業部の女性職員約15名が開催日までの1週間にわたり、チームの赤いユニフォーム姿で業務にあたりました。また、試合の2週間前に開催された少年野球喬木大会では、出場した児童に公式戦入場チケット400枚を無料配付しました。



信濃グランセローズ

第22回 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ

令和元年 5月23日(木)

協 賛

国内最大の自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」の第5ステージ(全8ステージ)である南信州ステージは、飯田市下久堅地区に設定された1周12.2kmのコースを10周する、平坦区間のない「ジェットコースターコース」です。沿道では観客が焼肉を楽しみながら応援しました。



TOJ南信州ステージ実行委員会

第11回 竹宵まつり 100万人のキャンドルナイト

令和元年 5月25日(土)

協 賛

竹宵とは、地域の竹林から切り出した竹を用いて、地元のみなさんが作った高さ30～50センチほどの竹灯ろうです。当日18時、りんご並木に並べられた約1600本の竹宵に一齐点灯し、19時30分～20時30分には会場周辺の照明を一齐消灯しました。竹宵のほのかな明かりを楽しみながら、スローな夜を過ごしました。



百万人のキャンドルナイトin南信州実行委員会

事業承継・M&Aセミナー

令和元年 6月7日(金)

主 催

「事業承継問題を抱えている方」「自社株式の評価方法を知りたい方」「M&Aによる第三者承継を検討している方、事業拡大を検討している方」を対象として、税理士法人成迫会計グループ 財務コンサルティング事業部 中村雄太氏により「自社株評価の方法と後継者への円滑な承継ポイント」、信金キャピタル(株)経営支援部 田中進氏により「中小企業の生き残り戦略～事例から学ぶM&A成功のコツ～」のタイトルでご講演いただきました。



高校生インターンシップ

令和元年 6月27日(木)～28日(金)

主 催

学校での学習の充実化、また勤労観・職業観の育成を図ることを目的とし、毎年地元の高校生に当金庫で就労体験をしていただいています。お札の勘定、印鑑登録、窓口での受付といった金融機関業務のほか、マナー講座(挨拶、敬語、名刺交換等)、自身のライフプラン作成などを体験していただきました。



資産運用セミナー

令和元年 6月29日(土)・10月23日(水)

主 催

第1回はしんきんアセットマネジメント 投信(株) クライアントサービス部 永山信哉氏により「世界市場における今後の見通し、リスクを力に変える成長戦略～資産分散・時間分散・長期保有の重要性～」、第2回は三井住友DSアセットマネジメント(株) 資産運用サポート部 櫻井宏氏により「人生100年時代の資産設計、運用のチカラ～日本を取り巻く環境の変化と資産運用の必要性～」のタイトルでご講演いただきました。



SYMS 同友会定期総会・記念講演会

令和元年 7月4日(木)

後援団体

「朝まで生テレビ!」「ビートたけしのTVタックル」「そこまで言って委員会NP」などでおなじみの国際政治学者 村田晃嗣氏(同志社大学教授)を迎え、「今後の世界情勢と日本」のタイトルでご講演いただきました。



県下信用金庫体育大会

令和元年 7月6日(土)・9月14日(土)

その他

県下信用金庫体育大会は、長野県内にある6信用金庫の職員がさまざまなスポーツで競い合う大会です。7月に野球・庭球の部が飯田市で開催され、庭球の女子ペアとシニアペアが準優勝を果たしました。9月に排球・卓球の部が長野市で開催され、男女ともに排球で準優勝を収めました。



焼来肉(やきにく)ロックフェス 2019

令和元年 7月20日(土)

協 賛

人口1万人あたりの焼肉店舗数が日本一多い「焼肉のまち 飯田」を盛り上げるため、2015年から始まった焼肉&ロックフェスのコラボイベントです。当日は時折小雨が降る中、会場は県内外から集まった約2,200名の観客の熱気と焼肉の香ばしい匂いに包まれました。



焼来肉ロックフェス実行委員会

いいだ人形劇フェスタ 2019

令和元年 7月31日(水)~8月5日(月)

協 賛

いいだ人形劇フェスタは、日本全国・全世界から約300の劇団が一同に会し、約140会場で400以上の公演が繰り広げられ、のべ4万人が鑑賞するという日本最大の人形劇の祭典です。前回に引き続き、全国の伝統人形芝居を取り上げる企画「受け継がれていく伝統人形芝居in飯田」を実施し、その感動は確実に未来へ受け継がれていきました。



いいだ人形劇フェスタ実行委員会

第38回 飯田りんごん

令和元年 8月3日(土)

その他

飯田まつり・飯田りんごんは、「いいだ人形劇フェスタ」期間中の土曜日に開催される市民のお祭りです。日中は各商店街でさまざまなイベントや出店による「ふれあいアップルタウン」が展開され、夜は地域の学校や企業など100超の団体が約8,000人の群れをつくり、「りんごん踊り」で盛り上がりました。当金庫の役職員も参加連で最大級の規模となる総勢約200名が参加し、連帯と強調の輪を広げました。



大学生・短大生向けインターンシップ

令和元年 8月16日(金)・12月26日(木)

主 催

当金庫では例年大学3年生・短大1年生の採用活動開始前に、学生から「発見される」「選ばれる」ための機会として職業体験型インターンシップを実施しています。ただし、採用試験とは直接の関係はありませんので、気軽にご参加いただいています。



電話対応コンクール 飯田・阿南地区大会

令和元年 8月27日(火)

その他

電話対応コンクールは、各企業の従業員の電話対応と対応技能レベルアップを通じて、顧客満足経営の推進を図るための人材育成を目的として毎年実施されています。今回は「聴く力と伝える力で信頼アップ」をテーマとし、「取引先のお客さまから不在の担当者を指名される電話を取り次ぐ」という設定で技能を競い合いました。当金庫からも14名の職員が出場し、うち1名が優秀賞、1名が審査員特別賞を受賞しました。



消費税軽減税率セミナー

令和元年 8月28日(水)

主 催

10月1日からの消費税率引き上げに伴う軽減税率制度導入を前に、十分な理解と準備に向けたセミナーを開催しました。カシオ計算機(株)所属の中小企業診断士 栗林太郎氏により「消費税軽減税率制度と中小企業が取るべき対応策について」のタイトルでご講演いただきました。



しんきん海外経済セミナー

令和元年 8月29日(木)

主 催

米中貿易摩擦下における日本企業への影響を学ぶため、第1部では日本銀行 松本支店 支店長の和田健治氏により「最近の金融経済事情と米中貿易摩擦の影響」、第2部では信金中央金庫海外業務支援部 支援グループの原田幸三氏により「中小企業の海外展開動向と信用金庫・信金中金による支援」のタイトルでご講演いただきました。



BCP訓練

令和元年 8月31日(土)

金庫行事

当金庫では毎年、飯田市防災訓練の前後の休日に、大規模災害発生に伴う各種対応のBCP(Business Continuity Plan, 事業継続計画)訓練を実施しています。今回は三井住友海上火災保険(株)の協力により、本部役職員を対象とした地震BCP初動体験を行い、地震発生後約半日間に直面するであろう状況を体験しました。



信州ブレイブウォリアーズ プレシーズン飯田ゲーム

令和元年 9月7日(土)

協 賛

試合の前日には当金庫提供のバスケットボールクリニックが開催され、飯田市内の高校生を対象に所属プロ選手とコーチが熱血指導しました。Bリーグ3部の東京サンレープスとのプレシーズンマッチ当日は、1,030人の観客が見守る中、70-30で見事快勝しました。2年連続地区優勝という圧倒的な強さを誇った信州ブレイブウォリアーズは、2020-21シーズンに悲願のB1(1部)昇格が決まりました。



©SHINSHU BRAVE WARRIORS/B.LEAGUE

年金友の会特別講演 坂本冬美コンサート

令和元年 9月19日(休)・20日(金)

後援団体

当金庫では1992年から、年金友の会会員のみなさまを観劇・歌謡ショーに優待しており、今回は「坂本冬美コンサート」を開催しました。2日間4公演で約5,000名のお客さまにご来場いただき、美しい歌声と巧みなトークで会場を魅しました。



第35回 しんきん各店対抗ゴルフ大会

令和元年 10月3日(休)

後援団体

各営業店でお取引いただいているゴルフ愛好家などで構成する23のクラブチームに、当金庫理事チームを加えた計24チーム・182名が出場し、団体戦・個人戦で優勝を目指して競い合いました。今回も各クラブ選りすぐりのメンバーによる熱い戦いが繰り広げられました。



特別養護老人ホーム 清掃ボランティア

令和元年 10月5日(土)～26日(土)

金庫行事

平成27年度、当金庫の創立90周年に地域貢献活動の一環として開始した活動です。飯田下伊那地方の特別養護老人ホーム11施設で、107名の役員が窓拭き、車イス洗い、グモの巣払い、駐車場清掃、草取りなどの作業を実施しました。終了後、入所者のみなさまとお茶を飲みながら和やかに談笑しました。



事業承継・M&Aに関する個別相談会

令和元年 10月10日(休)・24日(休)・11月14日(休)

主 催

後継者問題を抱えている、自社株評価や事業承継に関する税制について知りたい、M&Aによる第三者承継もしくは事業拡大を検討している、といった事業者さま向けに、信金キャピタル㈱から相談員を招き、個別相談会を開催しました。



第65回 風越(かざこし)登山マラソン大会

令和元年 10月27日(日)

協 賛

大正時代から始まったとされる「日本一歴史のある登山マラソン大会」は、飯田市の秋のスポーツイベントとして定着しています。スカイランニングの第一人者である五郎谷俊選手も交え、県内外から399名のランナーがそれぞれの目標や楽しみ方で秋の風越山を満喫しました。



風越登山マラソン実行委員会

第12回 三遠南信しんきんサミット

令和元年 11月3日(日)

主 催

三遠南信地域の8信用金庫が主催する本サミットも第12回目を迎え、今回は飯田市街地のりんご並木通りや当金庫本店を会場として開催いたしました。しんきん物産展は70社85ブースの出展により、三遠南信各地域の特色ある食や特産品を販売し、多くのお客さまにご来場いただきました。しんきん講演会第1部では元高知県知事の橋本大二郎氏により「今、地方に求められるもの」のタイトルでご講演いただき、第2部では愛知大学の戸田教授と青森大学の櫛引教授により「県境を越えた地域連携」をテーマにトークセッションを行いました。



小学生向け お金の体験教室

令和元年 11月3日(日)

主 催

「親子で楽しもう♪～お金の体験教室～」と題して飯田丘のまちフェスティバルと同日に開催したイベントには、約100名の小学生・保護者のみなさまにご来場いただきました。オリジナルのお札づくり、お金の勘定、お札の偽造防止技術、窓口体験など、金融に関するさまざまなことに触れていただきました。



喬木支店 新築移転オープン

令和元年 11月5日(火)

金庫行事

当金庫喬木支店は昭和26年6月に阿島支店として開設以後、複数回の移転や店名変更を経て、令和元年11月に現在地へ新築移転しました。当金庫で初めて全席ローカウンター窓口を採用したほか、阿島傘や瓦葺など喬木村の伝統産業を随所に取り入れ、より快適にご利用いただける店舗に生まれ変わりました。



第22回 営業係ロールプレイング大会

令和元年 11月9日(土)

金庫行事

今回は「業界・市場分析や経営者とのヒアリング等により仮説を立て、企業の課題を把握し、解決に向けた提案ができる職員を養成すること」を主な目的とし、和洋菓子製造・小売業の代表者と面談するという設定で行われました。大観衆を前に緊張しながらも、各店の代表選手20名は日々の練習の成果を十分発揮し、堂々たる態度で演じていました。



防災訓練

令和元年 11月13日(火)

金庫行事

当金庫では毎年、全店で防災訓練および緊急事態対応手順テストを実施しています。今回は「震度6の地震が発生し、本店、営業店は給湯室から火災、地上駐車場で事故による環境汚染物質が流出した」というシナリオに従い、本店ビルでは安全確保行動を実施後、建物内の防火扉を閉めた状態で外へ避難し、飯田広域消防の協力を得ながら消火訓練を行いました。



飯田信用金庫「SDGs宣言」の策定・公表

令和元年 11月15日(金)

金庫行事

国連が定めたSDGs(持続可能な開発目標)の実現を目指し、環境・社会・ガバナンスの3つの側面による決意・取り組みを盛り込んだ飯田信用金庫「SDGs宣言」を策定・公表しました。SDGsを日々の活動と紐付けし、「地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関」という経営ビジョンのもと、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



SYMS&同友会 経営者大会 2019

令和元年 11月19日(火)

後援団体

意欲的な執筆活動に加え、各種メディアへの出演や全国各地での講演など多方面で活躍されている(株)経世論研究所 所長の三橋貴明氏を迎え、「日本を豊かにする経済学～最強の地方創生とは～」のタイトルでご講演いただきました。



防犯訓練

令和元年 11月22日(金)

金庫行事

当金庫では毎年飯田警察署にご協力いただき、年末を迎える前に職員の防犯意識を高めるための訓練を実施しています。強盗役の署員が窓口で拳銃を発砲し金を要求するという状況下で、緊急時の通報の仕方、犯人の特徴把握、逃走経路の確認などを訓練しました。併せて、訓練用カラーボールを車に向かって投げる練習も行いました。



第5回 女性応援セミナー キ★ラ★リ

令和元年 11月30日(土)

主 催

地域の女性がいいききと暮らしていくための応援企画として、女性限定のセミナーを開催しています。第5回は「整理整頓」をテーマに、第1部では地元で活躍する整理収納アドバイザーより「シンプルな暮らしを実現するお片付け～生活に弾みがつき、気分もUP!!～」、第2部では当金庫マネーアドバイザーより「老後のもっと先を見据えたお金の整理整頓」のタイトルで講演を行いました。



第19回 萩元晴彦ホームタウンコンサート

令和元年 11月30日(土)

主 催

飯田市馬場町出身のプロデューサー・萩元晴彦氏(故人)が「故郷に一流の音楽を届けたい」と企画し、1995年に始まったホームタウンコンサートは第19回を迎えました。約900名のみなさまにご来場いただき、村治佳織&奏一姉弟ギターデュオによる時に情熱的、時に叙情的な演奏に酔いしれました。



萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会

第4回 みなみ信州駅伝・ロードレース大会

令和元年 12月1日(日)

協 賛

身体を動かすことの楽しさを体験し、スポーツ活動の日常化や競技スポーツへの進展へ結びつけることを目的として、2016年に始まった大会です。駅伝では、地域や市町村対抗の1部に14チーム、各種団体で参加する2部に90チームの計900名がエントリーしました。小学3年生から50歳以上を対象に4部門ずつを設けたロードレースには、約300名が参加しました。



(公財)飯田市スポーツ協会

三井住友海上火災保険㈱との「SDGsに関する包括連携協定」締結

令和元年 12月23日(月)

金庫行事

三井住友海上火災保険㈱と連携し、SDGsの情報発信・普及啓発、働き方改革、健康経営、人材育成、事業承継、災害対策など、さまざまな側面から企業の持続的成長と地域経済の活性化に関する取り組みを支援してまいります。



藤本四八記念 美博小中高校生写真賞

令和2年 1月11日(土)

協 賛

飯田市松尾出身の写真家・藤本四八氏(故人)の功績の顕彰と写真文化の発展を目的に1996年～2016年に開催された「飯田市藤本四八写真文化賞」から、小学生・中学生・高校生部門を独立させた写真賞です。最高賞の藤本四八記念大賞に次ぐ「しんきん大賞」が各部門に設けられています。



飯田市美術博物館

SYMSフェア2019

令和2年 1月18日(土)

後援団体

「地元企業を見て、触れて、感じる1日を体験しよう」と題し、50社以上の幅広い業種が企業展示会に出展し、自社の事業や魅力などを伝えました。会場では各事業者が試食や販売、体験企画を交えてPRし、親子連れなど約800名にご来場いただきました。



高校「金融教室」での講義

令和2年 1月21日(火)、2月6日(木)、12日(水)、13日(木)

その他

進学、就職、一人暮らしといった「自立」を目前に控えた高校3年生に対し、「生活にかかわるお金の実践的な知識」を身に付けてもらう企画です。当金庫のマナーアドバイザー3名が「ライフイベントごとに必要なお金の目安」「働く意義」「正社員とフリーターの違い」などについて解説しました。



青年部バスハイク

令和2年 2月1日(土)・2日(日)

金庫行事

青年部は入庫5年目までの若手職員で構成される職員会組織で、春の集い(総会)、夏の集い(バーベキュー)、チャリティーバザー、ボランティア、忘年会などにより交流を深めています。バスハイクでは京都・滋賀方面へ行き、名所の見学や買い物を楽しみました。

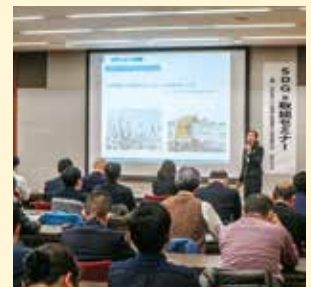


SDGs取組セミナー

令和2年 2月15日(土)

主 催

SDGsは「世界共通のゴール」と認識され、日本でも関心が高まっています。「SDGsの概要」「企業にとってのビジネスチャンスとリスク」「取組方法」「取組事例」等を経営者さま向けにわかりやすくお伝えするため、三井住友海上火災保険㈱ 営業推進部の目黒ゆかり氏により「中小企業の持続可能な成長にSDGsをどう活用するか」のタイトルでご講演いただきました。



デジタルスキル向上セミナー

令和2年 2月15日(土)

主 催

当金庫はGrow with Google のパートナーとして、「デジタルマーケティングの基本を学びたい方」「無料のデジタルツールを活用してビジネスを拡大したい方」を対象としたデジタルスキル向上セミナーを開催しました。第一部は「はじめてのデジタルマーケティング」、第二部は「Googleマイビジネスのはじめ方」、第三部は「いますぐはじめる観光のデジタル化」のタイトルでご講演いただきました。



Web会議システム 本格始動

令和2年 3月18日(水)

金庫行事

業務改革の一環として、イントラネット(金庫内ネットワーク)を介して遠隔拠点間で音声や映像などをやり取りする「Web会議システム」を導入しました。営業店からの移動時間が解消されるだけでなく、感染症対策としても機能を発揮しています。



フレッシュヤーズ給与振込キャンペーン

平成31年 2月18日(月)～令和元年 5月31日(金)

預 金

キャンペーン期間中、当金庫に新たに給与振込をご指定いただき、本キャンペーンにご応募いただいた方に、VJAギフトカード1,000円分を無料でプレゼントいたしました。



「高抗磁力(Hi-Co)通帳」の取り扱い開始

平成31年 4月22日(月)～

預 金

近年では電子機器の普及などにより、通帳やキャッシュカードが使用できなくなってしまうケースが増えています。当金庫ではお客様の利便性向上のため、磁気ストライプを強化し磁力の影響を受けにくい「高抗磁力(Hi-Co)通帳」の取り扱いを開始いたしました。



未来応援定期「結」

令和元年 6月10日(月)～8月30日(金)

預 金

特別金利を付加する定期預金を発売いたしました。魅力の金利でご好評いただき、期間中129億円お預け入れいただきました。



「後見制度支援預金」の取り扱い開始

令和元年 7月1日(月)～

預 金

後見制度による支援を受ける方(ご本人)の預金のうち、日常的な支払いをするのに必要十分な金銭は後見人がご自身で管理し、残りの通常使用しない金銭は「後見制度支援預金」として家庭裁判所の指示に基づき別口座で管理するものです。判断能力が十分でない高齢者や未成年者の適切な財産管理支援を行います。



台風19号に係る農業者さまの金融支援

令和元年 10月15日(火)～

融 資

令和元年台風19号の被害に遭われたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。当金庫では、農業被害に遭われたお客さまの災害復旧に係る資金ニーズにお応えするため、自治体の罹災証明を待たずにお申し込みいただける農業被害等緊急対策資金「畑のお守り」などをご用意しています。



多目的ローン「ライフプラス」の取り扱い開始

令和元年 10月21日(月)～

融 資

お使いみちが確認できれば何でも対応、ご融資金額は最大1,000万円、ご融資期間はゆとりの最長10年、さらに団体信用生命保険を付けることができる多目的ローン「ライフプラス」の取り扱いを開始いたしました。



特別金利定期預金「暖」

令和元年 11月5日(火)～令和2年 1月10日(金)

預 金

特別金利を付加する定期預金を発売いたしました。魅力の金利でご好評いただき、期間中104億円お預け入れいただきました。



「しんきんバンキングアプリサービス」の取り扱い開始

令和元年 11月11日(月)～

各種サービス

スマートフォンの生体認証または4桁のパスコードでログインすることにより、口座の残高や入出金明細を簡単・即座にご確認いただけるアプリの取り扱いを開始いたしました。ご利用可能なサービスは今後さらに拡張していく予定です。



各種信託商品の取り扱い開始

各種サービス

令和元年 12月23日(月)～

ご自分の将来やご家族の未来のために、必要となる資金をあらかじめ準備できる「しんきん相続信託 こころのボタン」と、お子さま・お孫さま・ご家族へ生前贈与をサポートする「しんきん暦年信託 こころのリボン」の取り扱いを開始いたしました。



フリーローンキャンペーン

融 資

令和2年 1月6日(月)～令和2年 4月30日(木)

期間中に対象のフリーローン商品を50万円以上ご利用いただいた方に、QUOカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



住宅ローンキャンペーン

融 資

令和2年 1月6日(月)～令和2年 6月30日(火)

期間中に対象の住宅ローンをご利用いただいた方に、VJAギフトカード5,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



民法改正に伴う預金規定の改定および電子化

預 金

令和2年 2月3日(月)～

令和2年4月1日施行の改正民法に対応するため、預金規定等を一部変更いたしました。併せて、環境に配慮した取り組みの一環として、当金庫窓口での配布および郵送していた「預金規定集」等を電子化し、ホームページで最新版をご確認いただけるようになりました。なお、ご希望のお客さまには紙面に印刷したものをお渡しいたします。



「新型コロナウイルス感染症緊急対応特別資金」の取り扱い開始

融 資

令和2年 3月9日(月)～

新型コロナウイルス感染症による直接的・間接的な影響を受け、売上高の減少、または原材料費等の高騰により、事業活動に支障をきたしている企業・事業者の皆さまを応援するための特別資金をご用意いたしました。



ビジネスマッチング・事業承継に対する取り組み

各種サービス

継続実施中

当金庫では、日々多様化するお客さまのコンサルティングニーズにお応えするため、経営に関する専門的知見やノウハウを有する事業者との業務連携を通じ、ビジネスマッチングや事業承継に取り組んでいます。その一例として、飯田市の精肉業者の事業承継を支援し、同じ精肉業などを手がける市内の別の事業者に全株式を譲渡するM&Aを実現しました。



「Facebook」による地域情報の発信

各種サービス

継続実施中

当金庫が運営する「Facebook」では、地域で行われる民俗芸能や各種イベントのほか、セミナー開催、営業に関するお知らせなどさまざまな情報を発信しています。みなさまも是非ご覧いただき、いいね!またはシェアをお願いいたします。



景気動向調査

各種サービス

継続実施中

飯田下伊那地区の景気動向調査についてまとめた資料「産業経済動向」を、ご希望いただいたお客さまや行政・金融機関等に配付し、当金庫ホームページにも掲載しています。資料には、主要経済指標、各業種の概況・業況判断指数(DI)、雇用の状況、当金庫の専門アドバイザーが執筆したコラム、リニア・三遠南信対策室によるレポート等が掲載されています。



環境への取り組み

当金庫は、飯田・下伊那に本店・支店を置く地元金融機関として、金融を通じて地域の経済発展に寄与することはもとより、飯田・下伊那という豊かな自然に囲まれた地域を未来に残していく責任を感じています。

豊かな風土を後世に引き継ぐために。

経済・文化貢献に加えて、環境改善に取り組むことは企業住民としての責務と考え、この目的をより合理的・効果的に達成するための手段として、国際的な環境マネジメントシステム規格であるISO14001の認証を、飯田信用金庫本店、支店、研修所、およびしんきんビジネスサービス(株)、飯田しんきんリース(株)、飯信商事(株)とともに飯田信用金庫グループとして取得しています。

■ 二酸化炭素排出量の削減や廃棄物のリサイクルをすすめています。

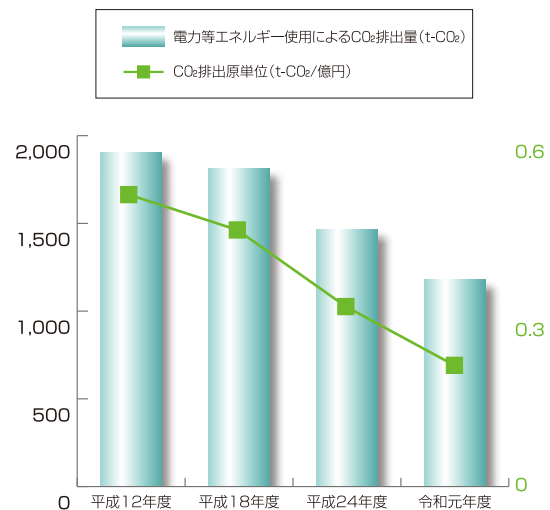
① 事業活動における環境負荷軽減の取り組み

温室効果ガス削減のため電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、令和元年度の二酸化炭素排出量(*1)は1,200トンとなり、基準年度とする平成12年度に比べ36.9%削減することができました。この結果、預金1億円あたりの二酸化炭素排出原単位(*2)は0.21トンとなり、平成12年度に比べ58.0%減少しています。

(*1) 二酸化炭素換算係数は、環境省ホームページの資料(エコアクション21の換算表など)を使用しています。

(*2) 二酸化炭素排出原単位とは、預金量1億円あたりの電力等エネルギー使用による二酸化炭素の排出量を表しています。

◆ 電力等エネルギー使用による二酸化炭素排出量の推移



	平成12年度	平成18年度	平成24年度	令和元年度
電力等エネルギー使用によるCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	1,903	1,812	1,467	1,200
預金量 (億円)	3,790	4,070	4,633	5,494
CO ₂ 排出原単位	0.50	0.44	0.31	0.21

環境方針

1. 基本理念

飯田信用金庫及び関連会社は、飯田・下伊那地域に本店をおく企業として、地域環境・地球環境の保全活動に取り組むことの重要性を認識し、従業員・社員一人一人が毎日の業務を通じて、地域の環境改善や文化創造への貢献に積極的に取り組みます。

2. 基本方針

- (1) 当金庫及び関連会社の全ての事業活動が環境に与える影響を、適切に評価し改善するための管理システムを構築・運用し定期的に見直すことによって、継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
- (2) 環境改善や汚染の予防の取組に関連して、法令、条例等の規制及び当金庫及び関連会社が同意するその他の基準等を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で一層の環境保全に取り組みます。
- (3) 継続的な環境改善と汚染の予防のため、優先的に取り組む項目を設定し、定期的に見直します。
- (4) 積極的な社内広報活動や計画的な環境教育の実施により、当金庫従業員・社員全員の環境保全に関する意識を高めるとともに、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性及び生態系の保護に努めます。
- (5) この環境方針は、当金庫及び関連会社の施設内で働く全ての人々に周知するとともに、一般に開示します。



天竜川水系環境ピクニック

② 環境情報の発信等

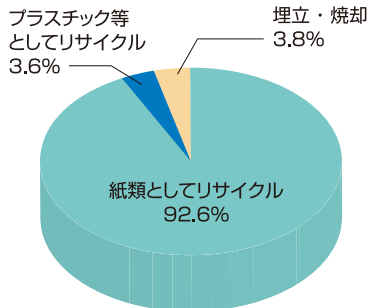
- 天竜川水系環境ピクニックへの参加
- 飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載 (広告料は飯田市の環境改善政策に活用されています)
- 地域ぐるみ環境ISO研究会への参加
- 長野県環境保全協会事業への参加
- ISO14001 (環境マネジメントシステム) 最新規格2015年版の認証登録継続
- SDGs宣言による環境負荷削減への取り組み開始

③リサイクルの推進

廃棄物のリサイクルをすすめ、事業活動により発生する廃棄物の96.2%をリサイクルすることができました。

◆令和元年度廃棄物リサイクル実績

令和元年度の総廃棄物量は76,603kgでした。廃プラと廃タイヤはサーマルリサイクル(高炉燃料)、その他はマテリアルリサイクル(再資源化)しています。



◆当金庫からの使用済紙のリサイクル



◆環境に配慮した素材の利用

エコユニフォーム

新ユニフォームのスカートはペットボトル再生繊維を60%使用しています。なお、使用後の制服はサーマルリサイクルしています。



エコクロス通帳

紙100%でできた通帳用紙を使用することにより、製造過程で発生する切れ端が新たな資源に生まれ変わります。



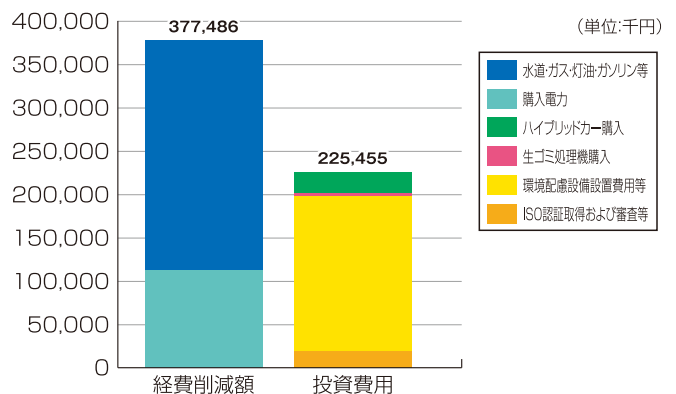
ベジタブルインキ

インキ中に含まれる植物油等が含有基準量以上のインキを使用しています。

■EMSの導入によりコスト削減効果も生まれています。

EMS(環境マネジメントシステム)を導入したことにより、令和元年度までの20年間で約1億52百万円のコスト削減効果がありました。

●EMS 取り組み以降の投資額とコスト削減効果



◆節電への取り組み

当金庫は、照明の一部消灯や空調の適正な温度設定等の節電に取り組んでいます。

■融資商品を通じて二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇する住宅関連ローンを取り扱っています。

お客さまにご利用いただくことで二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

◆環境融資商品

商品名	優遇内容	優遇対象
住宅ローン	0.1%の金利優遇	太陽光発電システム、エコキュート、ガスエンジン給湯器(エコウィル)、潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)など環境に配慮した住宅設備をする場合

◆融資業務を通じてお客さまにより削減された二酸化炭素排出量の実績(令和元年度)

	新規ご契約件数	融資金額(千円)	二酸化炭素削減効果(kg-CO ₂)
住宅関連融資	37	1,014,200	141,614

※二酸化炭素排出量削減効果については対象商品ごとに当金庫独自で算出しています。

コーポレートガバナンスの状況

当金庫は、総代会、理事会、監事会、会計監査人等による外部牽制・内部牽制体制のもとで、コーポレートガバナンスの体制強化を図り、経営の健全性・適切性の確保に努めております。

また、地域金融機関としての社会的責任と公共的使命を自覚し、当金庫グループは法令・倫理に基づくコンプライアンスの徹底を経営上の最重要課題と位置づけ、役職員一丸となって取り組んでおります。

飯田信用金庫内部統制基本方針

- 1.当金庫は金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制を整備しております。
- 2.当金庫は理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制を整備しております。
- 3.当金庫は金庫及びその子法人等の損失の危険の管理に関する規程その他の体制を整備しております。
- 4.当金庫は金庫の理事及びその子法人等の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制を整備しております。
- 5.当金庫は金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制を整備しております。
- 6.当金庫はその他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制を整備しております。
- 7.当金庫は金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制を整備しております。

内部統制基本方針の運用状況の概要

1.当金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況

(1)当金庫はグループ全体として法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題のひとつと位置づけ、コンプライアンスマネジメントシステム(以下、「CMS」という)を構築、倫理綱領を定めるとともに、コンプライアンス基準書を策定・変更する等、体制の整備を行っております。また、子会社関連会社を含むCMS委員会にて毎年定期的に会合を行うとともに、所属員に対し毎年CMS教育を行っております。また、所属員のCMS行動基準の遵守状況を定期的に確認しております。

(2)監査部は、法令等遵守態勢の有効性及び適切性について当金庫グループ全体の監査を行い、その結果を常勤役員・常勤監事及び本部各部署に報告するとともに理事会へその最終報告を行い、必要に応じて被監査部門及び関連部署に改善すべき事項の改善を求め、その実施状況を検証しております。

(3)常勤監事は内部統制基本方針の体制及び運用状況について、理事会へ報告を行っております。

2.理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制の運用状況

(1)理事会、常勤役員会の各議事録は、「飯田信用金庫理事会規程」及び「常勤役員会規程」に基づき作成しております。

(2)理事の職務の執行状況に関する情報については、各種会議の議事録、稟議書等が作成され、これらの文書については、常勤理事及び常勤監事が常時閲覧できるよう保存・管理しております。

3.当金庫及びその子法人等の損失の危険の管理に関する規程その他の体制の運用状況

(1)適正な統合的リスク管理を実現するため、リスク統括規程を制定し、常勤役員が出席する毎月の「ALM委員会」においてリスクの把握・確認に努め、管理方法の改善を図っております。

(2)監査部は、内部監査において当金庫グループ全体の業務執行に伴い発生するさまざまなリスクを正しく把握し、適切に管理しているかを検証し、常勤役員及び常勤監事に報告するとともに理事会へその最終報告を行っております。

4.当金庫の理事及びその子法人等の取締役等の職務執行が効率的に行われるための体制の運用状況

(1)当金庫グループ全体の職務執行が効率的に行われるため、子法人等管理部門は四半期毎に財務報告を受けるとともに、毎年定期的にヒアリングを行い必要に応じて理事会及び常勤役員会へ報告しております。

(2)当金庫代表理事の業務執行状況は定例理事会において報告し確認を行っております。

5.当金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員が監事へ報告する体制に関する運用状況

(1)理事及び職員並びにその子法人等の役職員は、当金庫グループ全体に著しい損害を及ぼす事項について、CMS緊急事態対応に準じて速やかに常勤役員または常勤監事に報告を行うこととしております。また上記の報告を行った所属員の職場環境が悪化しないよう適切な措置を講じるよう当金庫グループ全体に周知しております。

6.監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制の運用状況

(1)監事は代表理事と定期的に会合を行い、理事会その他重要な会議へ出席し、当金庫の本支店並びに子法人等の監査を毎年行い代表理事に報告し、必要に応じて代表役員及び関連部署に是正を求めております。

(2)監事は内部監査部門・会計監査人等との連携を通じ、監査が実効的に行われることを確保しております。

7.当金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制の運用状況

(1)当金庫の子法人等の業務の決定及び執行について相互の連携が適正になされるよう、子法人等の非常勤取締役及び非常勤監査役を当金庫の常勤役員が兼務し、子法人等の取締役会に出席しております。

(2)監査部は、子法人等の法令等遵守態勢やリスク管理態勢の適切性・有効性を監査し、その結果を定期的に常勤理事及び常勤監事に報告するとともに理事会へその最終報告を行っております。

法令等遵守の態勢

◆コンプライアンスマネジメントシステム(CMS)

飯田信用金庫及び関連会社は、法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題と位置づけ、役職員が信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を自覚し、法令等を遵守して行動することをお約束するため「倫理綱領」を定めております。

また、役職員一人ひとりの業務活動が倫理綱領に沿ったものであることを確実にするため、CMSの仕組みを構築し、運用しております。

このCMSにおいては、定期的なモニタリングや監査などを組み合わせることによってその実効性を確保するとともに、お客さまからお寄せいただくご意見・ご要望・苦情なども、業務改善や経営改善に反映させていただいております。

さらに、毎年の実施結果は、理事会での見直しによって継続的な改善を行っております。

飯田信用金庫 倫理綱領

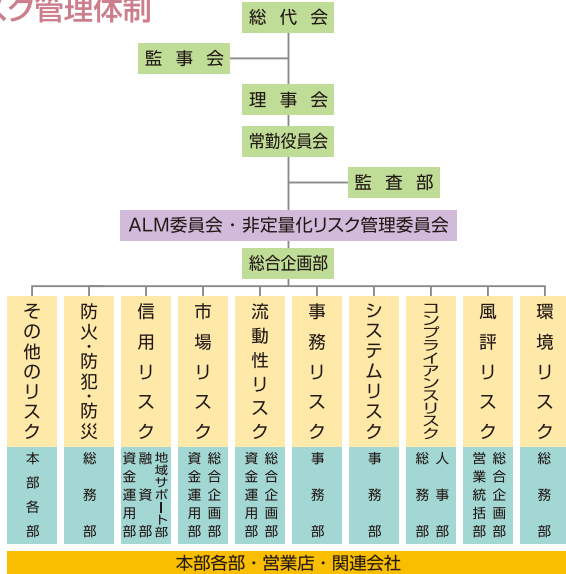
飯田信用金庫及び関連会社は、法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題と位置づけ、これをマネジメントシステムとして確立し、継続的な改善に努める。

1. 飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員は、社会的責任と公共的使命を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。
2. 経済活動を支えるインフラとしての機能はもとより、創意と工夫を活かし、お客さまのニーズに応えるとともに、セキュリティレベルにも十分配慮した質の高い金融および非金融サービスの提供等を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。
3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範に決してもとめることのない、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。また、お客さまが当金庫及び関連会社との取引に関して期待する利益が不当に害されないよう、適切に管理するための態勢を整備することに取り組む。
4. 経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。
5. 飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員の人権、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。
6. 環境マネジメントシステムの適切な運用により、資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む。
7. 社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会と共に歩む「良き企業住民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む。
8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除する。
9. この倫理綱領は、飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員に周知するとともに、一般に開示する。

リスク管理の状況

総合企画部を統合的なリスク管理部署として位置づけ、当金庫がさらされるあらゆるリスクに対応する体制を整え、リスク統括規程に基づき状況に対応した適切なリスク管理を行っております。なお、定量化が困難なリスクについては、半年に1度開催する非定量化リスク管理委員会にて把握・管理する体制としており、その内容は理事会に報告しております。

●リスク管理体制



●コンプライアンスリスク管理

当金庫では、平成14年度からISOの手法を取り入れたコンプライアンスマネジメントシステムを構築し、運用しています。法令等遵守の基本方針である「倫理綱領」に基づいて年間の行動計画を策定し、役職員に対するコンプライアンス教育を行うと同時に、苦情・提案等を積極的に取り込み、改善に努めております。

また、このマネジメントシステムの確実な運用を確保するため、事務検査、内部監査などにより、多角的なチェックを実施しております。

●信用リスク管理

当金庫では、貸出資産の健全性を維持するため、貸出審査部門と業務推進部門を分離し、厳格な審査体制をとっています。また、内部研修の実施や外部研修への派遣により職員の審査能力向上を図るとともに、不動産管理システム及び信用格付システムの導入によって貸出資産の管理にも努めております。有価証券運用に関しては、市場リスク管理規程による限度額管理を行っております。

〔資産自己査定の実施〕

適正な償却・引当を行うため、資産の自己査定を実施し、リスク量の把握に努め、経営の健全性を確保しております。また、合理性のある査定のため、信用格付制度を導入しております。

●事務リスク管理

当金庫では、日常の事務ミスを未然に防止するため、内部規程の整備を行うとともに内部研修による職員の事務処理能力向上を図る一方、事務の内容によって日次、月次での店内検査実施を義務づけることにより、万一事故が発生した場合でも早期発見できる体制を整えております。

また、関連部署では逐一苦情の原因となった事務ミスや事務取扱方法を分析・検討し、事務ミス情報の共有化を図る体制を構築するなど、積極的に改善に取り組んでおります。

●市場リスク管理

金融政策の変更により、市場運用環境も変化しておりますが、当金庫では市場リスク管理規程に基づき牽制機能を働かせる中で厳格で健全な運用管理に努め、ALM委員会でリスク量を把握・コントロールする体制としております。

●風評リスク管理

当金庫では、お客さまからのご要望やご不満に素早くお応えするための態勢整備に努めており、お取引店だけでなく本部担当部署も加わって現状の把握と原因の分析による問題解決を図るとともに、再発防止のための施策に反映する仕組みを整えております。

また、みなさまに安心してお取引いただけるよう、経営内容の積極的な開示に努めております。

●流動性リスク管理

当金庫では、流動性リスク管理会議を開催し、毎週支準準備資産の状況などをモニタリングしているほか、定期的にも実施するBCP訓練の現金手配訓練により緊急時対応に備えております。

●システムリスク管理

当金庫では、リスクの所在や種類などを明確にするとともに、厳格なセキュリティ管理と定期的な点検やシステム監査を実施して、安定的な業務遂行のための態勢強化を図っております。また、一般社団法人しんきん共同センターに加盟しており、不測の大規模災害等に備えた万全のバックアップシステムが機能し、万一コンピュータトラブルが発生しても迅速に対応できる仕組みとなっております。

●環境リスク管理

当金庫では、平成12年11月に環境マネジメントシステムISO14001規格の認証を取得、現在は同規格の最新版へステップアップし運用を行っております。具体的には、当金庫業務が環境に与える影響を調査し、環境保護のための施策を立案して実施しているほか、お客さまが当金庫をご利用いただくことにより、環境保護活動にご参加いただけるような商品の開発に努めております。

マネー・ローンダリング、お客さま保護等への取り組み

■ マネー・ローンダリング等防止に向けた取り組みの強化について

金融取引の複雑化や犯罪手法の巧妙化に伴い、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与リスクが高まってきている中、当金庫は、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与を未然に防止するため、「犯罪収益移転防止法」ならびに「金融庁マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」等の関係法令等を遵守し、引き続き一層の取り組み強化に努める方針です。

なお、お客さまのお取引が『犯罪収益の移転の危険性が高いものとして「疑わしい取引」の届出に該当する取引』と認識した際は、当金庫は速やかに監督官庁に「疑わしい取引」の届出を行うとともに、継続的な取引モニタリングの実施や取引制限を行うことが義務付けられております。

そのため、今後は金融当局等の指導に基づき、当金庫がマネー・ローンダリング及びテロ資金供与のリスクが高いと判断せざるを得ない一部のお取引につきましては、通常のお取引よりも厳重な取引時確認を実施させていただくとともに、場合によりましては当該お取引をお断りさせていただく、または一部お取引を制限させていただくことがございます。

お客さまには一部ご不便をお掛けすることが予想されますが、何卒趣旨をご理解いただくとともに、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 反社会的勢力に対する対応について

平成19年6月に政府が「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」を公表したのを受け、当金庫では倫理綱領に「社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除する。」ことを明示し、この方針に基づき、取引約款等に「暴力団排除条項」の導入を行うとともに、警察庁、金融庁などと連携を図り、暴力団等反社会的勢力との取引排除に取り組んでいます。

この取り組みを進めるにあたり、当金庫ではお客さまが反社会的勢力に該当しないことを表明・確約する書面へのご署名をお願いしています。

お客さまには、お手間をお掛けすることとなりますが、この取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

■ お取引時確認のお願いについて

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止を強化する目的で平成25年4月1日「犯罪による収益の移転防止に関する法律」が改正されたことに伴い、当金庫では、口座開設等に際して従来の本人確認(氏名、住所及び生年月日等)に加え、お取引の目的、職業や事業内容等について確認(取引時確認)させていただいています。

また、平成28年10月1日の再改正に伴い、顔写真のない本人確認書類のご提示における追加的な確認、法人のお客さまの実質的支配者として個人の方まで確認、及び外国政府等において重要な公的地位にある方等の確認などをさせていただいています。

また、平成26年7月1日から米国の外国口座税務コンプライアンス法(通称「 ^{FATCA} FATCA」)に基づいて、「お客さまが米国人に該当するか」の確認、平成29年1月1日からは租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律(略称「実特法」)に基づき、「お客さまが居住者として租税を課される国(居住地国)はどこか」について確認させていただいています。

併せてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

■ 個人情報保護法への対応について

平成17年4月1日に「個人情報の保護に関する法律」が施行されたことに伴い、当金庫では金融庁、全信協などのガイドライン、実務指針、自主ルールなどを参照し、個人情報の保護と適切な利用に関する考え方及び方針に関する宣言(個人情報保護宣言)の公表や保有個人データのご本人への開示手続きなどを定めています。

個人情報保護宣言の全文、その他個人情報の取り扱いに関する詳細については、当金庫のホームページの他、店頭掲示のポスターにてご案内しています。

※アドレスは裏表紙をご参照ください。

当金庫の個人情報の取り扱いに関してご不明な点がございましたら、お取引店窓口または事務サポート課へお問い合わせください。

【飯田信用金庫 事務サポート課】
〒395-0054 飯田市箕瀬町2-2551-2

TEL.0265 (52) 0211

FAX.0265 (52) 0214

■ ATMによるキャッシュカード振込の一部制限について

振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は後を絶たず、依然として深刻な状況にあります。

特に、キャッシュカードを使用したお振込に不慣れな高齢のお客さまをATMに誘導して、預金を振り込ませる「還付金詐欺」が後を絶ちません。

当金庫では、こうした被害を防止するための対策として、一部のお客さまにつきまして、ATMによるキャッシュカードを使用したお振込を一部利用制限させていただきました。

お客さまには大変ご不便をお掛けいたしますが、お客さまの大切なご預金をお守りするための対策ですので、何卒ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

🚫 振り込み詐欺にご注意ください

「ATMで還付金が受け取れる」と言われたら、それは詐欺です。最近はおレオレ詐欺や還付金詐欺などの振り込み詐欺被害が増加しています。犯人は複数で劇団のように刑事役、弁護士役などを分担して演じることで被害者を信じ込ませ、お金を騙し取ろうとします。

少しでもおかしいなと思われたらお金を振り込む前、手続きする前に、もう一度ご家族やご友人などに確認・相談してください。

また、このような犯罪被害防止のため、当金庫では警察からの要請を受け、大口現金の払い戻しに際してはお使いみちの確認などの「お声掛け」をさせていただいておりますので、ご理解をお願いします。

🚫 キャッシュカードや暗証番号のお取り扱いにご注意ください

【お客さまへのお願い】

車上狙い等によりキャッシュカードが盗難に遭い、預金が不正に引き出される被害が社会的問題となっています。キャッシュカード等が盗難に遭ったり紛失されたりした場合は速やかに右記緊急連絡先までご連絡ください。

キャッシュカードが盗難に遭った場合に、暗証番号に生年月日など、類推されやすい番号を使用していたり、暗証番号を記録したメモと一緒に保管していたりすると、不正引き出し被害発生の確率が非常に高くなります。キャッシュカードの暗証番号は当金庫ATM

1.対象となる口座

70歳以上のお客さまの口座で、過去2年間ATMにてキャッシュカードを使用したお振込を利用されていないもの。

2.内容

上記の口座は、ATMにてキャッシュカードを使用したお振込ができなくなります。

※ATMでの振込限度額を「0円」とさせていただきます

3.お振込以外のお取引

キャッシュカードによるお預け入れやお引き出しは、従来通りご利用いただけます。

4.上記の口座にてATMでのキャッシュカードによるお振込を希望される場合

平日の営業時間内に当金庫の窓口へお申し出ください。ご本人さまを確認のうえ、キャッシュカードによるお振込を可能とさせていただきます。

で簡単に変更いただけますので、類推されやすい暗証番号を使用されている場合は変更いただけますようお願いいたします。また、定期的に変更されることをおすすめします。

🚫 偽造・盗難キャッシュカードなど被害の補償について

当金庫では、個人のお客さまの偽造・盗難キャッシュカードによる不正な預金払い出し被害に対する補償を行っています。偽造・盗難キャッシュカードによる不正な預金払い出し被害に遭われた場合は、各お取引店へご相談ください。

なお、補償に際しては、キャッシュカード・暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況などについて、当金庫の調査にご協力いただくことが必要となります。

お客さまに「故意」、「重大な過失」または「過失」がある場合には、被害額の全部または一部について当金庫が補償いたしかねる場合がございますので、キャッシュカード・暗証番号の管理に十分ご注意ください。

【盗難・紛失時 緊急連絡先】

曜日等	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:30～17:00	各お取引店	店舗一覧(P58-59)をご確認ください
	上記以外の時間帯	事務センター	フリーダイヤル 0120-58-0211
土曜・日曜・祝日	24時間対応		

■ マイナンバー制度に関するお知らせ

平成28年1月より、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、マイナンバー制度が開始されました。

マイナンバー制度とは、税・社会保障・災害対策の分野における行政の効率化、国民生活の利便性の向上、公平・公正な社会を実現する社会基盤として導入された制度です。この制度により、国内に住民票を有する個人には12桁の個人番号、国内の法人には13桁の法人番号が割り振られています。

当金庫においては、税分野での一定のお取引にお客さまのマイナンバー(個人番号・法人番号)を届け出いただくことになりました。また、平成30年1月の改正法の施行により、預金口座へ個人番号・法人番号を付番することが追加されました。お客さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、マイナンバーは法令で定められた目的以外での利用は禁止され、取り扱いには厳格な管理措置が義務付けられています。当金庫では、「飯田信用金庫個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」に基づき、適正な取り扱いを行ってまいります。

■ お客さまからマイナンバー(個人番号・法人番号)の届け出をお願いする主な取引

個人のお客さま

- マル優・マル特等の非課税貯蓄申告書関係
- 財形預金(年金・住宅)
- 投資信託・個人向け国債の取引全般
- 国外送金
- 預金取引(当座預金・普通預金・定期積金・定期預金等)

※平成30年1月より

当金庫の出資会員または新規加入する場合、マイナンバーをお届けいただく場合があります。他、法定帳票提出時に必要な場合

法人のお客さま

- 定期預金・定期積金・通知預金
- 投資信託の取引全般
- 国外送金
- 預金取引(当座預金・普通預金等)

※平成30年1月より

当金庫の出資会員または新規加入する場合、マイナンバーをお届けいただく場合があります。他、法定帳票提出時に必要な場合

※一度ご提出いただいた番号が変更となった場合は、再度ご提示をお願いします。

お客さまからマイナンバーをご提示いただく際、「番号確認」と「本人確認」をさせていただきます。お手続きの詳細につきましては、担当者よりご説明させていただきます。また、ご不明な点などございましたら、お取引店窓口または営業担当者までお問い合わせください。



マイナンバー制度をかたった詐欺(不審な電話やメール等)には十分ご注意ください。不審に感じたら当金庫または警察署にご相談ください。

■金融ADR制度への対応

●お客さまからのご意見等に対する取り組み

当金庫は、金融商品や各種サービスなどに関するお客さまからのご意見、ご相談、苦情、紛争等(以下「苦情等」という)のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、以下のとおり金融ADR制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、お客さま保護とお客さま満足度の向上に努めます。

1. 苦情等のお申し出があった場合、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店と関係部署との連携を図り、迅速・適切かつ公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努め、今後の業務運営に活かしていきます。
4. 営業店および各部署に責任者をおくとともに、総務部コンプライアンス課がお客さまからの苦情等を一元的に管理し、適切な対応に努めます。
5. 苦情等の対応にあたっては、解決に向けた進捗管理を行うとともに、苦情等のお申し出のあったお客さまに対し、必要に応じて手続の進行に応じた適切な説明を取引店から行います。
6. お客さまからの苦情等のお申し出は、全国しんきん相談所をはじめとする他の機関でも受け付けていますので、内容やご要望等に応じて適切な機関をご紹介します。
7. 紛争解決を図るため、弁護士会が設置運営する仲裁センター等を利用することができます。その際には、当該仲裁センター等の規則等も踏まえ、適切に協力します。
8. 苦情等への対応が実効あるものとするため、内部監査部門が検証する態勢を整備しています。
9. 苦情等に対応するため、関連規程等に基づき業務が運営されるよう、研修等により金庫内に周知・徹底します。

●苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情等のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレット等で公表しています。苦情等は、各お取引店または総務部コンプライアンス課にお申し出ください。

- ①各お取引店(電話番号はP58・59参照)
受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)
- ②担当窓口 総務部コンプライアンス課
電話番号:0120-114-943(フリーダイヤル) 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)

当金庫でお取引いただいているお客さまからの相談や苦情を一般社団法人全国信用金庫協会が運営する全国しんきん相談所ならびに一般社団法人関東信用金庫協会が運営する関東地区しんきん相談所でも、電話、手紙、面談により受け付けています。

- ③全国しんきん相談所
電話番号:03-3517-5825 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)
- ④関東地区しんきん相談所
電話番号:03-5524-5671 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)

●紛争解決措置

東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会(以下「東京三弁護士会」という)、長野県弁護士会が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、各お取引店、総務部コンプライアンス課、または全国しんきん相談所へお申し出ください。

また、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外のお客さまにもご利用いただけます。

- ①東京弁護士会 紛争解決センター
電話番号:03-3581-0031 受付時間:9:30～12:00、13:00～15:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ②第一東京弁護士会 仲裁センター
電話番号:03-3595-8588 受付時間:10:00～12:00、13:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ③第二東京弁護士会 仲裁センター
電話番号:03-3581-2249 受付時間:9:30～12:00、13:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ④長野県弁護士会 紛争解決センター
電話番号:026-232-2104 受付時間:9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

なお、東京三弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外のお客さまにもご利用いただけます。その際には、下記の方法によりお客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会の仲裁センター等もご利用可能です。

【移管調停】当事者間の同意を得たうえで、東京以外の弁護士会に案件を移管します。例)愛知県弁護士会に移管調停する。

■金融商品に関する勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等にあたっては、次の事項を守って、適正な勧誘を行います。

1. 私どもは、お客さまの知識、経験、財産の状況およびその金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適切でわかりやすい情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・購入は、お客さまご自身の判断によってお決めいただけます。その際、私どもは、お客さまに適正な判断をしていただくために、その金融商品の重要事項について説明をいたします。
3. 私どもは、誠実・公正な勧誘を心がけ、お客さまに対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて知識の向上に努めます。
4. 私どもは、お客さまにとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。

*金融商品の販売等に関する勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

地域密着型金融の推進への取り組みと 金融仲介機能の発揮

■ 地域密着型金融の推進への取り組み

当金庫は、さまざまな専門家と連携しながら良質な金融サービスの提供を目指しています。

個人のお客さま向けとして、地域サポート部に常駐する社会保険労務士2名が年金に関するご相談に応じています。また、営業統括部にはマネーアドバイザー6名を配置し、金融資産の運用に関する専門的なご相談に応じています。さらに、資産運用セミナーやマネーアドバイザーを講師とした地元高校生対象の金融教室も実施しています。

事業を営んでいるお客さま向けとして、2名の経営アドバイザーがライフステージに応じたコンサルティングに取り組んでいます。製造業(工業部門)の経営や商工会議所等において長く経営支援に携わった経験・ネットワークを活かし、多角的な視点からお客さまの課題解決に向け親身にご相談に応じています。

経営に関する公的な相談機関である長野県よろず支援拠点では、広い長野県でも気軽に専門家と経営相談できる体制づくりとしてサテライト拠点の整備を進めており、飯田下伊那地区では当金庫に限り「長野県よろず支援拠点サテライト相談会」を毎月第2木曜日に開催しています。今後もお取引先の経営上の課題解決に向け、長野県よろず支援拠点との連携強化を図ってまいります。

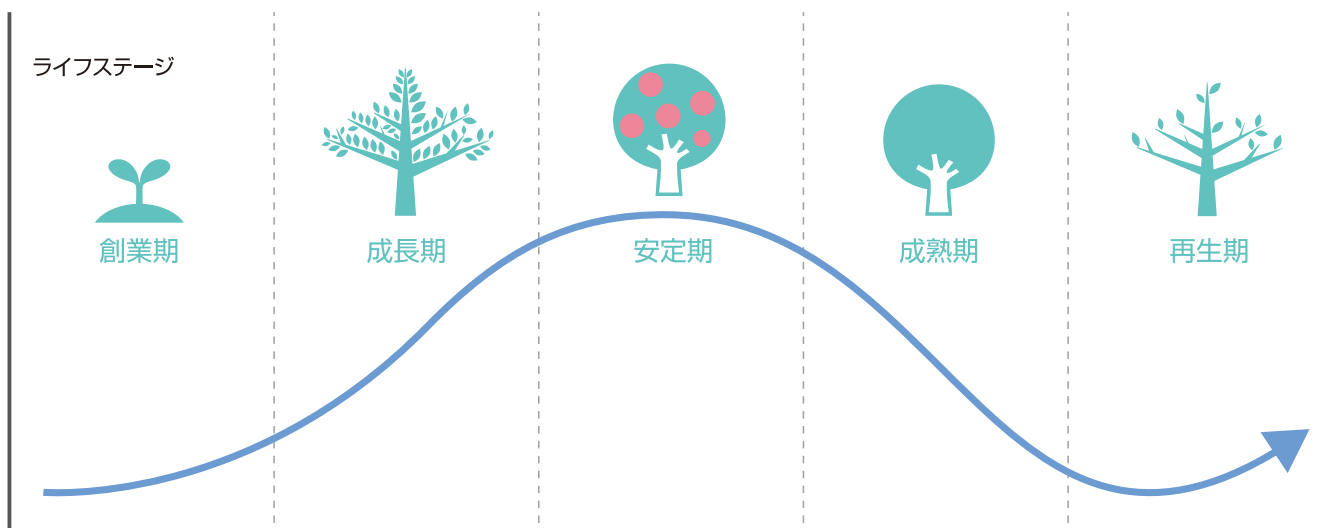
■ 金融仲介機能の発揮

当金庫は、前述のようなお客さま本位の良質な金融サービスを提供し、金融仲介機能の質の向上に努めています。「金融仲介機能のベンチマーク」を利用してこの取り組みについてお客さまにもご理解いただくとともに、当金庫の取り組み状況の進捗管理や課題について自己点検・自己評価し、今後のお取引先の価値の向上につながる有益な金融サービスの提供を目指していきたいと考えています。

◆ ライフステージについて

当金庫は、地域のみならず日々のコミュニケーションを通じて、お取引先の経営目標の実現や経営課題の解決に向けて、ライフステージ(発展段階)を適切かつ慎重に見極めたうえで、状況に応じて適時に創業・新事業展開、売上向上、業務効率化、人材活用など最適な解決策(ソリューション)をご提案させていただいています。

当金庫では、お取引先からいただいた2,564先(令和2年3月末時点)の決算書等から、ライフステージの見極めや事業の状況を分析しています。



◆ 共通ベンチマーク

当金庫をメイン先としてご利用いただいているお客さまについては、当金庫とのお取引がお客さまのお役に立てるよう、さらに理解を深めることに取り組んでいます。

ベンチマーク(共通1)		平成31年3月末	令和2年3月末
メイン先数		1,049先	1,003先
メイン先の融資残高		871億円	884億円
経営指標等が改善した先数		779先	687先
経営指標等が改善した先に係る 3年間の事業年度末の 融資残高の推移		平成31年3月末	令和2年3月末
		679億円	649億円
		平成30年3月末	平成31年3月末
		694億円	679億円
		平成29年3月末	平成30年3月末
		695億円	694億円

さまざまな経営環境の変化により、当初に予定したような事業の展開ができず経営不振に陥ったお取引先に対し、当金庫は金融円滑の趣旨に沿った支援に取り組んでいます。

ベンチマーク(共通2)		平成31年3月末	令和2年3月末
中小企業の 条件変更先に係る 経営改善計画の 進捗状況	条件変更総数	418先	419先
	好調先	5先	1先
	順調先	26先	22先
	不調先	387先	396先

当金庫では、未だ具体的な事業の構想がまとまっていなくても、お客さまがお持ちのアイデアや熱い思いについて、創業前の個別相談などにより準備段階から支援に取り組んでいます。

ベンチマーク(共通3)		平成31年3月末	令和2年3月末
金融機関が関与した創業件数		72先	64先
金融機関が関与した第二創業件数		6先	2先

当金庫は、地域社会・地域経済を支える柱として重要な役割を担っているお取引先のライフステージに応じた経営支援に積極的に取り組み、地域の発展に貢献してまいります。

ベンチマーク(共通4)		平成31年3月末	令和2年3月末
ライフステージ別の 与信先数	全与信先	2,549先	2,564先
	創 業 期	84先	87先
	成 長 期	74先	64先
	安 定 期	657先	684先
	成 熟 期	63先	38先
	再 生 期	384先	384先
ライフステージ別の 与信先に係る 事業年度末の 融資残高	全与信先	1,636億円	1,651億円
	創 業 期	25億円	25億円
	成 長 期	55億円	80億円
	安 定 期	428億円	415億円
	成 熟 期	16億円	9億円
	再 生 期	442億円	447億円

当金庫では、お取引先の事業について理解を深めるため、事業性評価に取り組んでいます。事業の成長性や今後の事業展開・将来性について妥当性を評価し、事業の発展に寄与するさまざまな支援を考えてまいります。

ベンチマーク(共通5)		平成31年3月末	令和2年3月末
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数及び融資残高	先 数	475先	490先
	融 資 残 高	446億円	346億円
上記計数の全与信先数及び 当該与信先の融資残高に占める割合	先 数	18.6%	19.1%
	融 資 残 高	27.3%	21.0%

◆ 選択ベンチマーク

お取引先の既存事業の発展や新たな事業展開に向けた相談に対して、本部と営業店が協働してその事業について当金庫の支援方針を検討する「事業性評価検討会議『Ai-biz(アイビズ)』」を開催しています。

ベンチマーク(選択5)	平成31年3月末	令和2年3月末
事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数	66先	88先
事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先のうち、労働生産性の向上に資する対話を行っている取引先数	58先	80先

当金庫では、お取引先とコミュニケーションを深めつつ事業性評価に取り組むことにより、財務データや担保・保証・返済履歴等に必要以上に依存しない与信判断も行っています。

ベンチマーク(選択11)		平成31年3月末	令和2年3月末
経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合	全与信先数①	2,549先	2,564先
	ガイドライン活用先数②	460先	350先
	②/①	18.0%	13.7%

取り組み項目	令和元年度
新規に無保証で融資した件数	399先
保証契約を解除した件数	5先
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	7.26%

創業に向け必要な手続きのお手伝いや店舗・事務所等の情報提供、さらに起業家同士の情報交換を目的とした交流会等もご案内しています。また、資金調達に関しては、創業関連融資「未来STORY」や補助金等の情報提供を行っています。

ベンチマーク(選択16)		平成31年3月末	令和2年3月末	
創業支援先数 (支援内容別)	①創業計画の策定支援	支援① 72先	64先	
	②創業期の取引先への融資 (プロパーと信用保証付きの区別)	支援②(プロパー)	1先	0先
		支援②(信用保証付)	71先	64先

お取引先が経営資源の「選択と集中」のために行うM&Aや、中小企業経営者の高齢化に伴い需要が高まっている事業承継について、さまざまなネットワークを活用し幅広いアドバイスを行っています。

ベンチマーク(選択19、21)		平成31年3月末	令和2年3月末
M&A支援先数		135先	38先
事業承継支援先数		40先	49先

お取引先の事業性評価や財務状況を理解するために、職員の自己啓発は欠かすことができません。お取引先の事業性評価や本業支援に資する研修への参加や、関連資格の取得を奨励しています。

ベンチマーク(選択39)		平成31年3月末	令和2年3月末
取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数、同研修等への参加者数、及び同趣旨の取り組みに資する資格取得者数	研修実施回数	7回	6回
	参加者数	225人	200人
	資格取得者数	6人	5人

お取引先に対して専門性の高い支援事業を行うため、「よろず支援拠点」の活用および「ものづくり補助金」等の申請のお手伝いに積極的に関与しています。

ベンチマーク(選択43)		平成31年3月末	令和2年3月末
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数		30先	28先

◆ 独自ベンチマーク

当金庫は、金融を通じて地域の経済発展に寄与することに加え、環境方針を策定しグループ全体として環境に取り組んでいます。環境に対する具体的な取り組みとして、国が進めるクリーンエネルギーの推進政策を側面から支援するため、節電やCO₂削減に取り組む企業または個人のお客さまに専用の融資制度を設けています。

ベンチマーク(独自)		平成31年3月末	令和2年3月末
太陽光、小水力、風力、バイオマス等の発電設備資金等の与信先数及び融資残高	先数	281先	325先
	融資残高	5,802百万円	6,586百万円